

活動の場所

愛媛県今治市 織田ヶ浜海岸、唐子浜海岸、品部川河口海岸



活動目的

東芝グループ環境未来ビジョン2050推進に伴い当社は今治市に生育する希少動植物保護活動を連携形態にて行い、近隣の小学生を現地に招いての生態系調査および動植物マップ作りを行うとともに地元自治会より歴史を学び、かけがえない自然環境を大切に次世代へ引き継いでいけるよう活動を進めている。

活動内容

愛媛県絶滅危惧1B類の「ウンラン」の自生地、今治市織田ヶ浜海岸の整地活動を2015年より地元住民、愛媛県、NPO団体、専門家と共に行い、2016年には富田小学校児童120名とウンラン移植会を実施しました。2017年以降、毎年富田小学校4年生約120名と総合学習（環境学習教育）として織田ヶ浜動植物マップ作り（成果物）を行っております。

※継続活動



愛媛県絶滅危惧1B類「ナミキソウ」が自生している今治市唐子浜海岸にて、2019年度より国分小学校5年生約50名を対象とした総合学習（環境学習教育）として

動植物マップ作り（成果物）を行っております。

※継続活動



環境省絶滅危惧II類「ヒロハマツナ」等を生育している大西町品部川河口海岸にて、2020年度より大西小学校4年生約50名を対象とした観察会（環境学習教育）を

実施しております。

※継続活動



PRしたいポイント

連携形態の元、活動が行われている。当社（企業）、愛媛県、今治市、地元住民、NPO、動植物専門家、近隣企業、市内小学校3校、中等高校1校が連携している。郊外活動は2014年より開始し2022年にて延べ約1200人の活動である。

夏季、冬季に保護区内外の整地活動を当社、愛媛県、NPO、地元住民で毎年行い維持調査を実施している。

当社構内でも保護育成を行い環境活動内部コミュニケーションとしている。

活動効果、今後の展開 等

- 現在の連携形態を継続して行い地域に根付いた生物多様性推進活動を目指し取り組んでいきます。
- 県内でもマスメディアに掲載され各表彰及び展示会等に参加しております。